

落語家が公演
生徒ら楽しむ

若狭町・中中文化祭



上方落語の林家染丸一門の林家染太さんによる公演が9日、若狭町中中で行われた。染太さんが巧みな結構や妙技を披露したほか、ワークショップもあり、生徒たちが落語の魅力を堪能した。生徒に文化や芸術を身近に感じさせようと、同校がこの日の文化祭に合わせて企画した。染太さんは後生徒26人を前に、「動物園」を披露。移動動物園というの役をががごうとうになりきる術を披露した。また、ほうじの茶では、三昧線の演奏や折り紙などを織り交ぜ、会場を大いに沸かせた。ワークショップでは、染太さんが生徒の代表者に、男子を使ってよん

生染中
でる上
ブず町
ッ流狭
ショ文若
と交若
ククさん
太中

ような華やかな文字が並んだ。蘭語書道や親書を揃った企画も展示している。

を責めるしぐさや、「南京玉すたれ」などを指導した。

また父親に反対されながらも落語家を目指しながらも落語家を目指した自身の体験を披露し、「自分の夢は自分だけのもの。夢を大切に、前向きに頑張って」とエールを送った。

初めて落語を鑑賞したという中村優君(8年)は「しゃべりやしぐさだけで見る人を引きつけていて、すごいと思った。生の落語をまた見てみたい」と話していた。